

富山大学学報

第247号

目 次

関係法令	2	選出	8
学内規則	2	永年勤続者の表彰	9
富山大学経営短期大学部学則の一部改正	2	海外渡航者	10
富山大学学則の全部改正に伴う関係規則等を 整理する規則の制定	2	建物の新営〈富山大学工学部機械・金属系 校舎等新営工事〉	10
富山大学電気工作物保安規則等の一部改正	3	会計検査院の会計実地検査	15
諸会議	3	卒業予定者の就職事務について	15
学事	4	シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(9) 〈学生会館・新樹寮建設に関する思い出〉	15
昭和59年度科学研究費補助金交付内定者	4	職員消息	17
昭和59年度科学研究費補助金申請・採択状況	5	主要行事	18
人事異動	6	資料	21
学内諸報	7	昭和58年度卒業生産業別就職状況	21
遼寧大学と友好学術交流協定締結	7	昭和58年度卒業生地域別就職状況	22
教育学部附属教育実践研究指導センター長の			

関係法令

(官報掲載月日)

(官報掲載月日)

法律

- 昭和42年度以後における国家公務員等共済組合等からの年金の額の改定に関する法律等の一部を改正する法律(35) 5・22

政令

- 国家公務員等共済組合法施行令等の一部を改正する政令(54) 5・22

省令

- 学校保健統計調査規則の一部を改正す

る省令(文部33)

5・17

規則

- 人事院規則(災害を受けた職員の福祉施設)の一部を改正する規則(人事院16-3) 5・31

告示

- 無線従事者国家試験の一部を免除する学校等として認定した件の一部を変更する件(郵政361) 5・17

学内規則

富山大学経営短期大学部学則の一部改正

富山大学経営短期大学部学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和59年5月17日 富山大学経営短期大学部 学長 柳田 友道

富山大学経営短期大学部学則の一部を改正する学則

富山大学経営短期大学部学則(昭和34年4月1日制定)の一部を次のように改正する。第37条中「6,000円」を「7,000円」に改める。

附 則

- この学則は、昭和59年5月17日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。
- 昭和59年度において入学した聴講生に係る授業料の額は昭和59年度に限り、前期(4月1日から9月30日までをいう。)にあっては1単位に相当する授業について6,000円とし、後期(10月1日から翌年の3月31日までをいう。)にあっては1単位に相当する授業について7,000円とする。

▶富山大学経営短期大学部学則の改正理由
国立学校における聴講生の授業料の額が改訂されたことに伴い関係条文を改める。

富山大学学則の全部改正に伴う関係規則等を整理する規則の制定

富山大学学則の全部改正に伴う関係規則等を整理する規則を次のとおり制定する。

昭和59年6月1日 富山大学長 柳田 友道

富山大学学則の全部改正に伴う関係規則等を整理する規則

(文書決裁規則の一部改正)

第1条 富山大学文書決裁規則(昭和48年12月21日制定)の一部を次のように改正する。

別表第2(学部、教養部、附属図書館関係)の18及び19中「専攻生、」を削る。

(事務分掌内規の一部改正)

第2条 富山大学事務分掌内規(昭和39年2月10日制定)の一部を次のように改正する。

第6条教務係(7)及び第8条第1項の学務係(22)中「専

攻生，」を削る。

（債権管理事務取扱要項の一部改正）

第3条 富山大学債権管理事務取扱要項（昭和53年9月20日制定）の一部を次のように改正する。

別表の1歳入金に係る債権及び別紙第5号書式の備考6中「，専攻生」を削る。

附 則

この規則は，昭和59年6月1日から施行し，昭和59年4月1日から適用する。

▶富山大学学則の全部改正に伴う関係規則等を整理する規則の制定理由

富山大学学則の全部改正に伴い，所要事項を改める。

富山大学電気工作物保安規則等の一部改正

富山大学電気工作物保安規則等の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和59年6月1日 富山大学長 柳田 友道

富山大学電気工作物保安規則等の一部を改正する規則

（富山大学電気工作物保安規則の一部改正）

第1条 富山大学電気工作物保安規則（昭和41年3月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1中「

設備係長

」を「

電気係長

」に改める。

（富山大学職員健康安全管理規則の一部改正）

第2条 富山大学職員健康安全管理規則（昭和51年10月1日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1中「

施設課長	設備係長
------	------

」を「

施設課長	電気係長
	機械係長

」に改める。

附 則

この規則は，昭和59年6月1日から施行する。

▶富山大学電気工作物保安規則等の一部を改正する規則の制定理由

施設課の業務をより合理的に推進するため，同課の事務組織を整備することに伴い，関係条文を改める。

諸 会 議

富山大学情報処理センター設置準備委員会（5月2日）
（審議事項）

(1)情報処理センター設置準備について

計算機センター運営委員会（5月7日）

（報告事項）

(1)業務報告

（審議事項）

(1)昭和59年度運営費予算案について
(2)広報・教育小委員会委員の選出について
(3)特別設備費の要求について

授業料等減免選考委員会（5月14日）

（審議事項）

(1)昭和59年度前期分授業料免除について

昭和59年度第2回補導協議会（5月14日）

（報告事項）

(1)補導協議会委員について

（審議事項）

(1)第29回大学祭について

(2)富山大学課外活動共用施設規則(案)等について
（継続審議）

昭和59年度第2回附属図書館商議会（5月15日）

（報告事項）

(1)北信越地区国立大学図書館協議会について

（審議事項）

(1)昭和59年度附属図書館運営費について
(2)昭和59年度概算要求(案)について
(3)休館についての特別措置

昭和59年度第1回入学試験管理委員会（5月15日）

（報告事項）

(1)昭和59年度入学状況について

（審議事項）

(1)昭和60年度富山大学入学者選抜試験の実施に伴う
基本方針について

(4)学生の動向について

(審議事項)

(1)昭和60年度富山大学入学者選抜試験の実施に伴う
基本方針について
(2)入学式々場について

昭和59年度第1回入学者選抜方法研究委員会専門委員会
(5月18日)

(審議事項)

(1)入学者選抜方法の改善に伴う昭和58年度以降の調
査研究事項について

昭和59年度第2回学園ニュース編集委員会(5月24日)

(審議事項)

(1)第45号学園ニュースの編集について

昭和59年度第2回評議会(5月18日)

(報告事項)

(1)遼寧大学との学術交流の締結について
(2)昭和60年度概算要求基本方針について
(3)大学祭及び体育祭について

富山大学構内交通対策委員会(5月25日)

(審議事項)

(1)工学部移転に伴う暫定駐車施設について

学 事



昭和59年度科学研究費補助金交付内定者

研究種目	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
	所属	官職	氏名		昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度
エネルギー特別研究(エネルギー)(2)	工学部	教授	塚島 寛	石炭アニオン誘導体(液化物)の化学構造の研究	2,000	0	0
”(核融合) (2)	理学部	助手	高安 紀	熱拡散法による高レベルトリチウムの濃縮	2,900	0	0
特定研究(2)	教養部	助教授	森 克徳	金属-水素系における新しい超伝導物質の開発とその出現機構の研究	4,000	0	0
総合研究A	理学部	教授	堀越 叡	別子型鉱床と三波川帯	3,500	0	0
一般研究A	”	”	”	島弧の火成活動の地球化学的進化の研究	1,000	0	0
	”	”	広岡 公夫	先史時代の地磁気永年変化と考古地磁気年代推定への応用	21,800	2,800	1,800
一般研究B	人文学部	”	秋山 進午	中国古代土器・陶磁器の様式史的研究	900	800	0
	教養部	”	河野 昭一	日本産ユリ科植物の個体群統計遺伝学的研究	4,300	900	900
一般研究C	人文学部	助教授	佐藤 進	朝鮮韻書の編纂とその語学文学史的意義の研究	800	0	0
	教育学部	教授	浅田 実	18世紀東インド貿易と生活革命、産業革命	700	0	0
	”	”	林 良重	大学教養課程における盲大学生のための物理・化学実験の開発	1,600	0	0
	”	助教授	横山 泰行	精神薄弱児の体力基準値策定に関する研究	600	0	0
	”	”	奥村 義雄	地方都市における階級・階層構造と社会的移動の実証的研究	1,000	0	0

一般研究C	理学部	教授	小黑 千足	爬虫類、特にヘビ類の副腎皮質の機能の解明	1,300	0	0
	"	助教授	川崎 一郎	地震波速度異方性を考慮した東太平洋上部マントル速度構造	500	0	0
	"	"	関口 健	無限次元空間上の確率測度の研究	1,200	0	0
	"	"	小畑 正明	上部マントルの部分溶融とメルトの移動についての岩石学的研究	1,000	0	0
	教養部	教授	岩田 弘	相対的整数基底数と相対的整数基加群についての研究	900	0	0
奨励研究A	教育学部	"	浅沼 照雄	疑多項式環の構造と性質について	1,000	0	0
	"	助教授	山西 潤一	自閉症児のためのLOGOを使った治療教育用CAIシステムの開発	800	0	0
	"	講師	神川 康子	開眼後の脳波におけるαリズムの再現時間による疲労判定	800	0	0
	経済学部	助教授	飯田 剛史	基層民族宗教の再生と変容 —生駒の「朝鮮寺」の実態調査—	900	0	0
	理学部	"	久保 文夫	正值作用素の平均の制御理論的研究	1,100	0	0
	"	"	道端 齊	バナジウムを高濃度に含むホヤのアクトミオシンATPase活性について	900	0	0
	"	助手	竹内 章	石灰質深海堆積物の熱ルミネッセンスおよび電子スピン共鳴による年代測定の研究	900	0	0
	"	文部技官	小松美英子	多腕のヒトデの発生とその骨格系の形成	900	0	0
	工学部	助教授	五嶋 孝仁	急速冷却によるクラッド積層材の熱衝撃現象における動的応答	1,000	0	0
	"	文部技官	丹保 豊和	X線光電子分光法によるIII-IV族層状半導体と金属の界面ポテンシャルに関する研究	900	0	0
	教養部	助教授	石川 義和	長いパルス巾を有するパルス強磁場発生装置の試作とその金属磁性体への応用	1,000	0	0
	"	"	北村 潔和	筋の持久性トレーニングが律動的作業中の血流量に及ぼす影響	900	0	0

昭和59年度科学研究費補助金申請・採択状況

研究種目	部局名	人文学部		教育学部		経済学部		理学部		工学部		教養部		トリチウム科学センター		計		採択率%
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
がん特別研究	申請									1	1,559					1	1,559	0
	採択									0	0					0	0	
自然災害特別研究	申請			1	1,137											1	1,137	0
	採択			0	0											0	0	
エネルギー特別研究(エネルギー)	申請									1	2,990					1	2,990	100
	採択									1	2,000					1	2,000	
エネルギー特別研究(核融合)	申請							2	6,643					2	9,612	4	16,255	25
	採択							1	2,900					0	0	1	2,900	

特定研究	申請								1	2,420	1	6,385			2	8,805	50	
	採択								0	0	1	4,000			1	4,000		
総合研究(A)	申請							1	8,799						1	8,799	100	
	採択							1	3,500						1	3,500		
総合研究(B)	申請									1	2,000				1	2,000	※未決定	
	採択																	
一般研究(A)	申請							(1) 3	(1,000) 43,360						(1) 3	(1,000) 43,360	66.7	
	採択							(1) 2	(1,000) 22,800						(1) 2	(1,000) 22,800		
一般研究(B)	申請	(1) 3	(900) 14,304	1	1,211			8	54,117	2	10,785	3	22,704		(1) 17	(900) 103,121	11.8	
	採択	(1) 1	(900) 900	0	0			0	0	0	0	1	4,300		(1) 2	(900) 5,200		
一般研究(C)	申請	3	3,861	(1) 13	(600) 18,711			(1) 23	(500) 53,258	19	38,091	9	10,576		(2) 67	(1,100) 124,497	14.9	
	採択	1	800	(1) 4	(600) 3,900			(1) 4	(500) 4,000	0	0	1	900		(2) 10	(1,100) 9,600		
奨励研究(A)	申請	3	3,378	6	6,036	4	3,842	11	12,416	8	9,397	5	5,628		37	40,697	32.4	
	採択	0	0	3	2,600	1	900	4	3,800	2	1,900	2	1,900		12	11,100		
試験研究	申請							1	3,100	2	3,798				3	6,898	0	
	採択							0	0	0	0				0	0		
計	申請	(1) 9	(900) 21,543	(1) 21	(600) 27,095	4	3,842	(2) 49	(1,500) 181,693	35	71,040	18	45,293	2	9,612	(4) 138	(3,000) 360,118	21.7
	採択	(1) 2	(900) 1,700	(1) 7	(600) 6,500	1	900	(2) 12	(1,500) 37,000	3	3,900	5	11,100	0	0	(4) 30	(3,000) 61,100	
採 択 率 (%)		22.2	33.3	25	24.5	8.6	27.8	0	21.7									

(注) ()内数字は継続を内数で示す。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	59. 6. 1	岡 田 勢 一		文部技官(施設課)	富山大学長
昇 任	〃	山 西 潤 一	講師(教育学部附属教育実践研究指導センター)	助教授(教育学部附属教育実践研究指導センター)	文部大臣
	〃	吉 野 義 光	文部技官(施設課)	施設課機械係長	富山大学長
	〃	佐 伯 信 男	〃 (〃)	富山医科薬科大学業務部施設課工管係長	富山医科薬科大学長
転 任	〃	小 林 裕	〃(富山医科薬科大学業務部施設課工管係)	文部技官(庶務部庶務課)	富山大学長

配 置 換	59. 6. 1	小 畑 正 明	助教授(理学部)	助教授(熊本大学理学部)	文部大臣
	"	福 山 浩	施設課設備係長	施設課電気係長	富山大学長
	"	保 正 邦 久	文部事務官(経済学部)	文部事務官(庶務部庶務課)	"
臨時的任用	59. 5. 5	高 見 玲 子		教諭(教育学部附属養護学校)	"
併 任	59. 6. 1	屋 敷 平 州	教授(教育学部附属教育実践研究指導センター)	教育学部附属教育実践研究指導センター長 (59.6.1~61.3.31)	文部大臣
	"	泉 敏 郎	" (教育学部)	評議員(59.6.1~60.5.31)	"
	"	大 塚 恵 一	" (")	評議員の併任を解除する	"
	"	小 林 裕	文部技官(庶務部庶務課)	高岡短期大学会計課	高岡短期大学長
公の名称の消滅	"	大 澤 欽 治	教授(教育学部)	教育学部附属教育実践研究指導センター長事務取扱を免ずる	文部大臣
職務命令	"	保 正 邦 久	文部事務官(庶務部庶務課)	庶務部庶務課企画係教務企画主任を命ずる 経済学部学務係教務主任を免ずる	富山大学長
	"	小 林 裕	文部技官(")	庶務部庶務課企画係施設企画主任を命ずる	"
	"	高 島 正 信	" (施設課)	施設課工営係建築主任を命ずる	"
	"	佐 伯 信 男	" (")	" を免ずる	"
	"	吉 野 義 光	" (")	" 設備係機械主任を免ずる	"

学 内 諸 報

遼寧大学と友好学術交流協定締結

去る5月9日(木)、富山第一ホテルにおいて、本学と中華人民共和国遼寧大学との友好学術交流に関する協定書の調印が行われた。調印式には、本学の部局長及び部課長、遼寧大学から、代表団長張 恩桐付校長、李 建唐外事処副所長、千 文甲講師が出席、柳田学長及び張付校長から、それぞれ挨拶があり、協定書に署名、協定書交換、記念品贈呈が行われた。

本学と遼寧大学との協定提携までの経過は概要次のとおりである。

本学人文学部ではかねてから、東アジア研究センター設置構想との関連で、遼寧大学との学術交流の気運が高まり、本学組織と類似する同大学と交流をはかり、学術交流の実をあげたいという気運があったので、中沖県知事が一昨年9月に遼寧省を訪問された際、本学の意思を伝えていただくため、学長から遼寧大学長あての書簡を託した。

これに対し、一昨年10月に遼寧大学長から、交流を歓迎する旨の返書が届き、昨年5月に柳田学長及び本

田学生部長が同大学より招へいされ、意見交換を行い、提携に向けて協議が進められていたものである。

遼寧大学代表団の一行は、本学諸施設・設備及び県内の高等教育機関、技術産業を視察され、続いて、本学教官有志と懇談され、相互に理解を深め、友好親善の実をあげて、5月12日離富された。



(協定書に調印が終り握手を交わす)
張 付校長と柳田学長

日本国富山大学と中華人民共和国遼寧大学との
友好学術交流に関する協定書

日本国富山大学と中華人民共和国遼寧大学は、日中两国人民の友好関係を発展させ、学術交流を促進させるために、平等互恵の原則に立って、友好大学関係を結ぶことを合意し、ここに以下の協定を締結するものである。

第一条 双方は次の各項に示す学術交流の実現のために努力する。

- 1 互いに教官、研究員及び学生を派遣して、教育及び研究に従事する。
- 2 互いに可能な限り必要とする図書資料の交流を計る。
- 3 互いに協議し同意を経た上で、その他の交流をも計る。

第二条 この協定の実現のために、双方は緊密な協議の上、年毎に実施案を定める。

第三条 双方は互いの社会制度、政治信条を尊重し、互いの法律および関連規則を遵守する。

第四条 この協定は必要の生じた時には互いの協議と同意を経て改めることができる。

第五条 この協定は日本語と中国語により作成し、それぞれ同等の効力を有するものとする。

第六条 この協定は双方の代表者の署名を経た後に効力を有する。

1984年5月9日

日本国富山大学長

中華人民共和国遼寧大学校長

中華人民共和国遼寧大学と日本国富山大学
友好学術交流协议书

中華人民共和国遼寧大学と日本国富山大学为了发展中日两国人民的友好关系，促进学术交流，双方同意在平等、互恵的原则基础上，建立友好学校关系。兹协议如下：

第一条 双方为实现下列各项学术交流而努力：

1. 双方互派教师、研究人员和学生，到对方从事教学或研究；
2. 双方根据需要和可能进行图书资料交流；
3. 经双方协商同意进行其它方面的交流。

第二条 为实现本协议，双方在密切协商的基础上每年确定具体实施方案。

第三条 双方互相尊重对方的社会制度、政治信仰，遵守对方的法律和有关规定。

第四条 本协议必要时，经双方协商同意可进行修改。

第五条 本协议用中文和日文两种文字写成。两种文字有同等效力。

第六条 本协议经双方代表签字后生效。

中華人民共和国遼寧大学校長

日本国富山大学長

一九八四年五月九日

教育学部附属教育実践研究指導センター長の選出

教育学部附属教育実践研究指導センターは、昭和57年4月に設置されて以来およそ2年を経過し、その間教育学部長（センター長事務取扱）のもとに、施設の整備充実を計ってきたが、このたび教育学部教授会は、4月25日に同センター長の選挙を行い、その結果、屋敷平州教授が選出された。

屋敷教授は、昭和19年9月京都帝国大学文学部を卒業後、同22年8月富山県公立学校教員、同38年4月富

山県教育委員会、同42年4月富山県立高等学校長、同45年4月富山県教育委員会、同52年4月富山県立高等学校長、同54年11月富山県教育委員会教育長、同57年3月同上退職後、同57年6月富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター教授となり、今日に至っている。

専門は哲学、富山県出身。

永年勤続者の表彰

本学の昭和59年度永年勤続者表彰式が、開学記念日の5月31日（木）午前11時から事務局大会議室において行われました。

表彰式には、各部局長等多数が列席され、35年勤続5名、20年勤続30名の1人1人に、柳田友道学長から表彰状並びに記念品が贈られ、引き続き学長の祝辞があり、これに対して被表彰者を代表して教養部有沢一男教授から「20年、35年も勤められたのは、家族の協力と皆様の援助の賜であり、今後もより一層、教育・研究、仕事に励みたい」旨の謝辞がありました。

閉式後、同会議室において、永年勤続者を囲み懇談会が催され、和やかな雰囲気の中に終了いたしました。

（表彰された方々は、次のとおりです。）

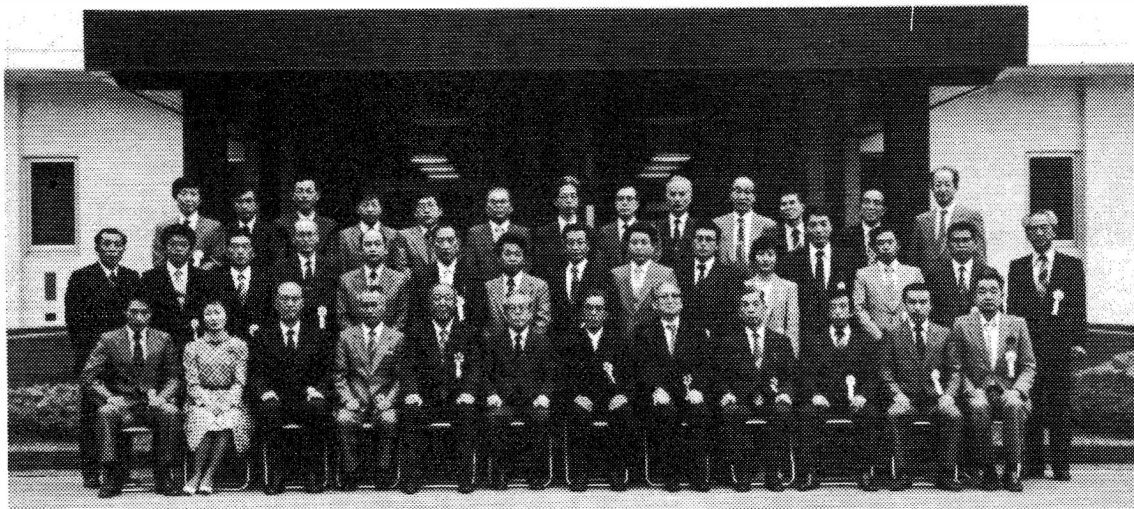
○35年勤続（5名）

教育学部	藤井敏孝
工学部	池田正夫
〃	廣岡脩二
教養部	有沢一男
〃	山下壽和

○20年勤続（30名）

庶務部	岡山一雄
経理部	前馬紫津
施設課	富田龍二
学生部	近岡忠夫

学生部	黒田芳雄
人文学部	奥田平八郎
教育学部	中井毅
〃	東敏
〃	福村一男
理学部	川井清保
〃	後藤克己
〃	高木光司郎
〃	金坂績
〃	常川省三
工学部	女川博義
〃	笹倉壽介
〃	加藤勉
〃	奥井健一
〃	新田昌六
〃	村中一男
〃	石坂淳子
〃	北村岩雄
〃	高瀬博文
〃	高安勇吉
教養部	稲垣保彦
〃	葛晋治
〃	瀧澤弘
〃	福田明夫
〃	高森隄
附属図書館	横山正弘



（昭和59年度永年勤続者表彰式の記念撮影）

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	助教授	尾島 十郎	ドイツ連邦共和国 オーストリア イタリア 連合王国	大環状共役化合物の合成的研究のため	59. 6. 1)) 59. 7. 31
海外研修旅行	教養部	教授	河野 昭一	オランダ	植物個体群の構造と機能に関する第2回国際シンポジウムに出席のため	59. 5. 5)) 59. 5. 14

建物の新営

富山大学工学部機械・金属系校舎等新営工事

工学部機械・金属系校舎等（管理棟，機械・金属系講義棟，同共通棟，同実験研究棟）新営工事は，昭和58年3月着工され，昭和59年3月竣工いたしました。

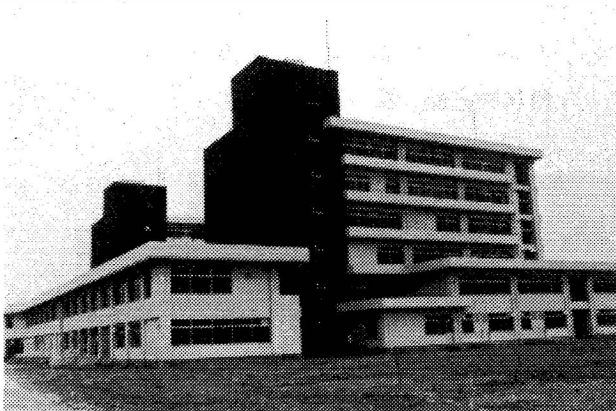
○請負業者

- 佐藤工業株式会社 (建築)
- 大阪電気暖房株式会社 (電気)
- 菱機工業株式会社 (設備)
- 日本エレベーター製造株式会社 (エレベーター)

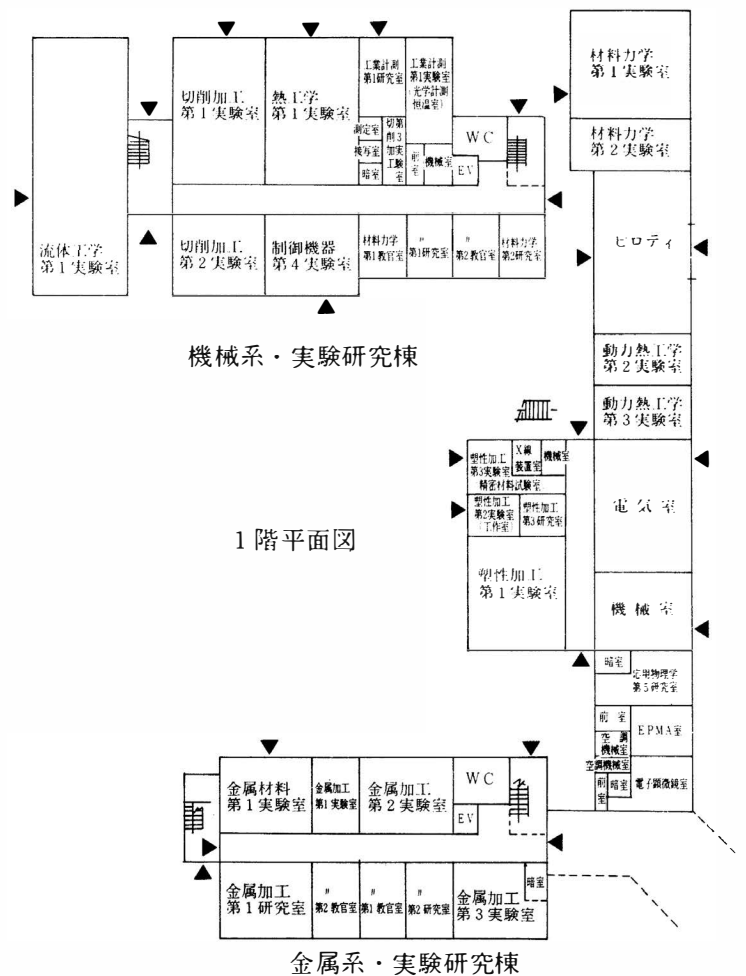
○設置位置

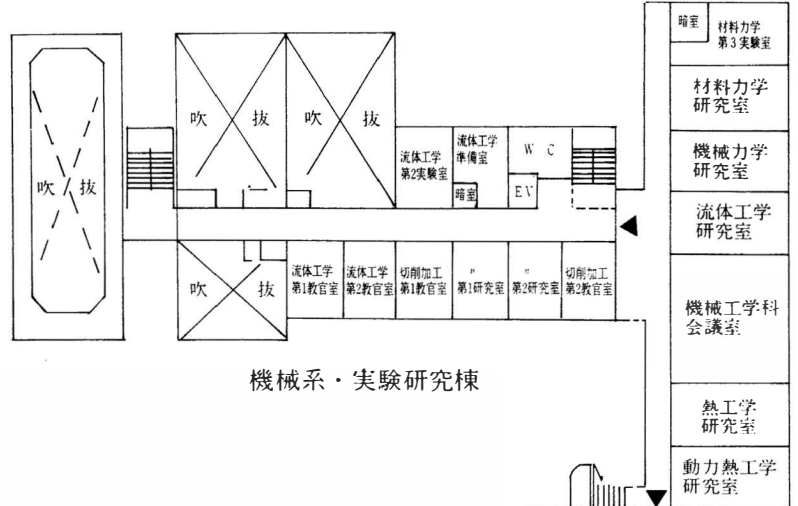
五福地区（現敷地の南側）工学部敷地

○建物面積 9,524m² 6階建 一部2階建



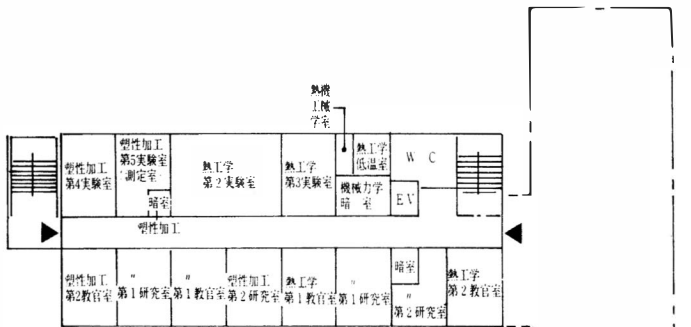
配置図は次のとおりです。





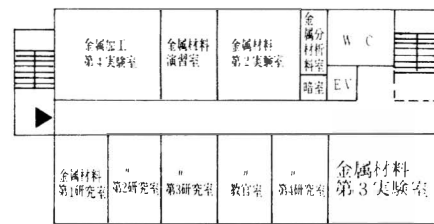
機械系・実験研究棟

2階平面図

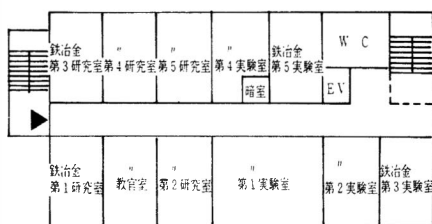


機械系・実験研究棟

3階平面図

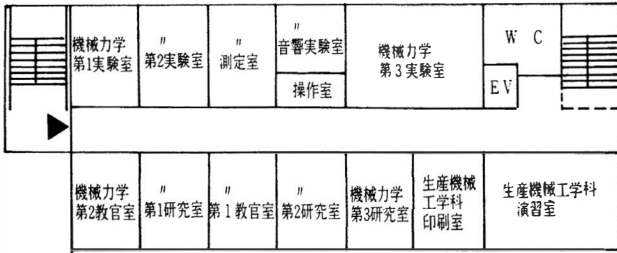


金属系・実験研究棟



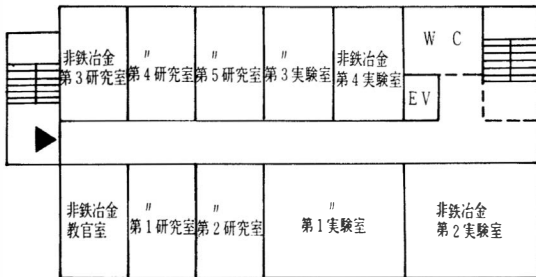
金属系・実験研究棟

機械系・実験研究棟

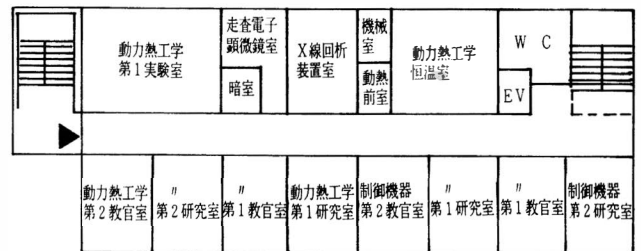


4階平面図

金属系・実験研究棟

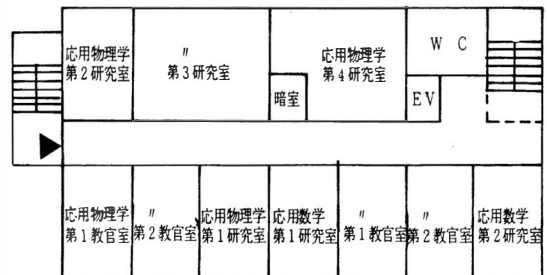


機械系・実験研究棟

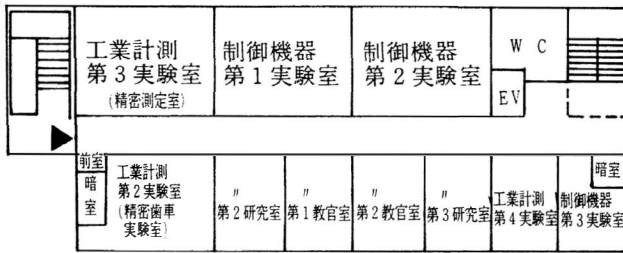


5階平面図

金属系・実験研究棟

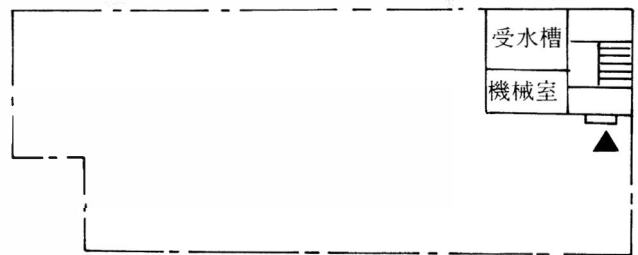


機械系・実験研究棟

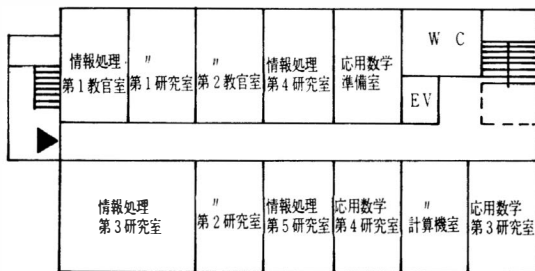


6階平面図

機械系・実験研究棟

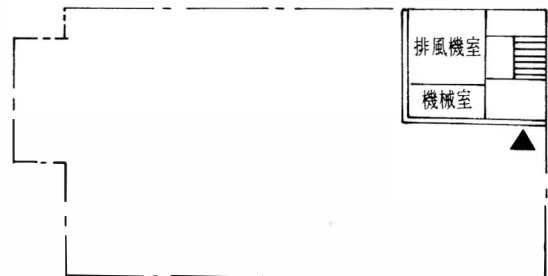


金属系・実験研究棟



P・H平面図

金属系・実験研究棟



会計検査院の会計実地検査

昭和58年度の会計検査院による会計実地検査が、去る5月10日(木)から5月12日(土)までの3日間本学で行われました。

主任官	副 長	石野 秀世
	調査官	仲村 昇
	調査官	堅田 純司
	事務官	深井 秀喜

卒業予定者の就職事務について

このことに関して、学生部長から、教職員に対し次のとおり協力方の依頼がありました。

就職協定について

例年大学卒業予定者の就職事務につきましては、大学等11団体からなる就職問題懇談会において決定された「昭和54年度以降の大学及び高等専門学校卒業予定者のための就職事務に関する申し合わせ」、いわゆる「就職協定」を踏まえて実施しているところですが、引き続き本年度も文部省大学局長から協定遵守についての通知がありましたので、教職員におかれましてもその趣旨を御理解のうえ、御協力くださいますようお願い

願いたします。

記

- 学生に対する求人内容の提示……………卒業前年の9月10日以降
- 求人（求職）のための企業と学生の接触開始……………卒業前年の10月1日
- 選考開始……………卒業前年の11月1日

シリーズ「富山大学、あの日あの頃」（9）

〈学生会館・新樹寮建設に関する思い出〉

富大の充実発展を見るにつけて、この思い出を綴っておくことも意味があることと思ひペンを執る。私が学生部長を併任したのは山岳部学生の赤谷山遭難事件があって、大島学生部長が苦悩された後をうけついでわけになる。

初めて手がけたのは生協の設立問題であって辞表を懐にした一年間であったがそれは別にゆずる。

第二は学生会館と統合寮の建設問題であった。時恰も富大の五福集中運動が学内の大勢であった。私もこの大勢にかんがみて学生側に立っての課題であった会館及び統合寮の建設が自ら責任課題であると自覚した。

「準備期」若林厚生課長に全国でも少い会館と寮の資料を集めてもらい直接視察にも出かけた。会館では鹿児島大学、岡山大学、寮では国際基督教大学（ホームルームシステム）、奈良女子大（女子の寮の施設）、京都教

富山大学名誉教授の会 佐々木龍作
育大（男女同敷地内の建設）、塩野義K.K.（寮の施設）などなどであった。これ等視察から得た結論として会館は郷土色を持たせてロマンをたたえ、限られた坪数を広く使える設計、学内の中央に位置することなどであった。寮については男女同敷地内に設けることの決意、明るく暖かさを感じずる施設などであった。かくして会館と寮の仮規程を作成し39年、文部省に予算申請したのである。たまたま田中事務局長から次年度予算編成は前年の8月半ば頃であることを漏れ聞いた。私はお盆休みを返上、上京して大学課、厚生課に顔を出した。私の意見は「一つのテストケースとして会館と寮の予算を同時につけて下さるならば少なくとも5年間大学紛争を起さないように努力する決意です。」ということであった。課長は「申し出はよく分かった、丁度今から省内の予算編成会議があるので時間の都合がつか

ら省内で待機してほしい、場合によっては直接意見を聞く必要がおこるかも知れないから」という話でそれに従う。午後になり会議から帰った課長から「両者同時に予算がつくことになったからしっかりやってほしい」と告げられ、躍る心を抑えて帰学し学長その他関係者に報告した当時は忘れられない。

「建設期」会館並びに統合寮をどのように設計するか、この構想をめぐらすことが毎日の楽しみであった。会館は若い学生の施設だからロマンを感じるものにし、と郷倉施設課長とも幾度か話し合った。3回にわたり設計を作成して貰った。内輪話であるが、3回目に課長は県民会館設計者の意見も参考にしてつくり現在案に到達したとのことであった。その苦心の脈どころは全体にロマンをたたえることと、三千名大学に許される坪数を如何に広く活用出来るようなものにするかであった。内部は快適な雰囲気とする為、机や椅子その他の調度は県内業者作製の最高のものとし、憩いの広間には手塚義三郎氏の静物や窪喜氏の「樺道子」なる作品(丸山教授の推薦)を飾り、各部屋にもそれぞれ小品を掲げたことが、会館が永く荒れないで使用されて来た一因であると自慰している。会館の建設場所については薬学部の向いを原案としたがこれに対しては教養部の隣敷地の西北隅にしろとの意見もあり数回の評議会で漸く現在地に決まった。寮の敷地は金屋に決まり男女棟続きとして境界廊下に扉を造り、開閉時間をきめる。使用水の井戸は鉄分多くて2本目を掘り大分子予算を狂わせた。勿論ここまで来るには長い検討のあったことを附記しておく。

「運営期」運営の話し合いのはじまりは昭和39年9月、学生代表が面談を求めて来た時からである。学生代表は開口一番「学生部長はわれわれに管理運営規程を一言も相談しないで予算を引き受けて来るとはけしからん、それをどうしてくれるか」との詰問であった。私は憤然として答えた。「私はお盆休みを返上して文部省に至り、予算をつけて貰って来たのだから酒の一本も持って来て労をねぎらうのがエチケットではないか、今日はこれ以上談合は断る。帰ってほしい」このようにして会館運営規程に対する学生との検討がはじまった。学生の最も強い主張点は委員会のメンバーに

事務官を加えることの排除であった。国家の予算によって造った建造物であるから事務官の加わるのは当然であり責任でもあるという主張をくり返した。そのうちに会館が完成したのに未だこの規程はきまらなかった。そこで私は勇断をもって規程を作らないで使用することを試みた。そして二ヶ月位かの経験を経て再び検討委員会を開いたところ、原案の如くすんなり決まった。この様にして紛争が避けられたのは幸いであった。

次に寮の場合に移ろう。まず寮名を広く寮生から募集することとし「新樹寮」の命名となり、門札は横田学長の筆になった。このすべり出しは幸先よく進めることになったように思う。寮生の主張点は三つにしばられる。一つは防衛大学は寮費無料であるから同じ日本社会に働くわれわれも無料にしてほしい。その二は自治寮であるから入寮退寮については寮生が決定すべきである。その三は事務官を常駐させて貰っては困る。個室のプライバシーは絶対である。これ等の主張に対し一は学長の権限を越える問題であるから除外する。二については一番談合がくり返された問題であるが厚生係長の立合いのもとに学生が入退寮者を立案し、最後に学長が承認を与えることとなった。その三については寮は国家の予算による施設であるから事務官の常駐は当然であり責任でもある。個室のプライバシーは尊重する。なお大学から寮までの間の電柱毎に街灯をつけ夜間の通行を安全にし、夜は女子は必ず複数で行動することを申し合せた。約10回にわたる談合の後、以上の様な結論に到達したのである。

いよいよ開寮に当って「おとこ、おみなに住む人間社会だからと子どもに協力して明るく快適な寮風を作ってほしい」という話して乾杯した。これは私にとって今も忘れられない一時であった。以上の如く会館及び寮の運営規程制定に当って紛争を起こさなかった大学の一つとなったことは幸いであった。

筆者：昭和6年3月富山師範学校に着任

昭和48年4月停年退職

昭和48年4月富山大学名誉教授の称号授与

昭和59年度国家公務員安全週間

昭和59年7月1日～7日

—— “もう一度” のゆとりから

生まれる職場の安全 ——

《住所表示変更》

教育学部

教 授 泉 敏郎

昭和59年度全国安全週間

昭和59年7月1日～7日

——努力と工夫を重ね

さらに高めよう職場の安全を！——

主 要 行 事

本 部

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| 5月1日 | 部課長会議 | 19日 | 第36回北陸地区国立大学体育大会連盟運営協議会（於 富山医科薬科大学） |
| 2日 | 情報処理センター設置準備委員会 | 22日 | 昭和59年度東海・北陸地区国立大学学生部次長課長会議（於 金沢大学） |
| 4日 | 国有財産事務電算化システム説明会
（於 京都大学） | 23日 | 昭和59年度文部省共済組合全国主管課長会議（於 東京青山会館）
定期健康診断（教育学部）
北陸地区大学学生部懇話会
（於 北陸学院短期大学） |
| 7日 | 部課長会議
計算機センター運営委員会
定期X線（間接）撮影
（5/22まで、工学部除く） | 23～24日 | 定期X線（間接）撮影（工学部） |
| 9日 | 中国遼寧大学と学術交流協定締結 | 24日 | 第2回学園ニュース編集委員会 |
| 10～11日 | 第38回東海・北陸地区国立学校庶務部課長会議（於 金沢大学） | 24～25日 | X線間接撮影
昭和59年度国立学校等会計部課長会議
（於 東京医科歯科大学） |
| 10～12日 | 昭和58年度会計検査院会計実地検査 | 25日 | 第42回構内交通対策委員会
中部地区学生補導厚生研究会常任幹事会
（於 大阪大学）
中部地区学生補導厚生研究会第28回総会
（於 大阪大学） |
| 11日 | オキシダント予行練習
全国大学保健管理協会東海・北陸地方幹部会（於 金沢大学） | 27日 | 第8回体育祭 |
| 14日 | 昭和59年度国立大学事務局長会議
（於 国立教育会館）
授業料等減免選考委員会
第2回補導協議会 | 28日 | 昭和59年度国立大学学生部次長・課長・国立高等専門学校学生課長会議
（於 東京医科歯科大学） |
| 15日 | 第1回入学試験管理委員会 | 29日 | 昭和59年度中部地区人事担当課長会議
（於 人事院中部事務局）
第40回国立大学学生部次長協議会
（於 千葉大学） |
| 16日 | 国大協理事会（於 国大協）
定期健康診断（人文学部・理学部） | 30日 | 昭和59年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会（於 西宮市民会館） |
| 18日 | 第2回評議会
健康診断
第1回入学者選抜方法研究委員会専門委員会 | | |
| 18～20日 | 第8回体育祭 | | |

6月
30～4日 第29回大学祭
31日 開学記念日
永年勤続者表彰式

人文学部

5月2日 教育実習委員会
予算委員会
9日 教授会
10日 大学院設置推進委員会
11日 昭和58年度会計検査院会計実地検査
16日 3・4年次学生の定期健康診断
17～18日 国立16大学人文系学部長会議
(於 鹿児島大学)
18日 大学院設置推進委員会
22日 真率会役員会
教務委員会
教授会
人事教授会
入試関係の検討委員会
25日 2年次学生オリエンテーション
職員定期健康診断
31日 大学院設置推進委員会

教育学部

5月8日 昭和60年度入試基本構想委員会
9日 学部教務委員会
人事教授会
10日 昭和58年度会計検査院会計実地検査
11～12日 日本教育大学協会北陸地区第二部会美術部
門研究協議会(於 上越教育大学)
14日 附属学校運営委員会
16日 学部教務委員会
教授会
17日 職業補導委員会
18日 日本教育大学協会第二部会音楽部門総会
(於 益田郡下呂町)
22～23日 日本教育大学協会北陸地区第二部会家庭科
研究協議会(於 石川郡白峰村)
附属小学校研究発表会
23日 学生定期健康診断

24～25日 春季全国国立大学教育学部長会議
(於 松江市)
全国国立大学教員養成学部事務長協議会
(於 西蒲原郡弥彦村)
日本教育大学協会北陸地区第二部会技術・
職業・職業指導部門研究協議会
(於 更級郡上山田町)
26日 全国国立大学附属学校連盟全国小・中学校
長及び副校長連絡会
(於 足柄下郡箱根町)
全国国立大学附属学校連盟全国幼稚園部会
(於 足柄下郡箱根町)
27日 全国国立大学附属学校連盟創立35周年記念
式(於 足柄下郡箱根町)
全国国立大学附属学校連盟代議員会
(於 足柄下郡箱根町)
30日 紀要編集委員会
学部予算委員会
教授会
人事教授会
31日 日本教育大学協会代議員会(於 東京都)

経済学部

5月7日 助手室業務運営委員会
9日 論集委員会
学部教務委員会
教授会
16日 日本海経済研究所運営委員会
28日 学部将来構想検討委員会
29日 学部施設整備委員会
30日 学部教務委員会
人事教授会
教授会

理学部

5月9日 教授会
理学研究科委員会
11日 昭和58年度会計検査院会計実地検査
16日 学部3・4年次及び大学院学生の定期健康
診断

- 国立15大学理学部事務長会議
 (於 弘前大学)
 17~18日 国立15大学理学部長会議 (於 弘前大学)
 21日 学科主任会議
 22日 真率会役員会
 23日 教授会
 人事教授会
 28日 ガラス工作室運営委員会

- (於 岩手大学)
 28日 推薦委員会
 30日 人事教授会
 教授会

附属図書館

- 5月15日 高議会
 21日 電算化ワーキンググループ打合せ
 24~25日 定期X線(間接)撮影
 29~30日 昭和59年度国立大学附属図書館事務部課長
 会議(於 東京医科歯科大学)

工 学 部

- 5月1日 学部補導委員会
 2日 移転実施計画委員会
 11日 昭和58年度会計検査院会計実地検査
 16日 教授会
 工学研究科委員会
 学生定期健康診断
 17日 職員尿検査
 19日 学科主任会議
 21~22日 第34回国立大学工学部長会議・総会
 (於 東京・日本海運倶楽部)
 23日 教務委員会
 定期X線(間接)撮影
 24日 //
 25日 入試検討委員会
 26日 学科主任会議
 28日 図書委員会
 30日 教授会

トリチウム科学センター

- 5月28日 トリチウム科学センター運営委員会

保健管理センター

- 5月
 7~25日 定期X線(間接)撮影(五福地区)
 16日 人文・理・工学部定期健康診断
 23日 教育学部定期健康診断
 23~24日 定期X線(間接)撮影(工学部)
 25日 臨時健康診断(駆伝大会出場者)

教 養 部

- 5月9日 将来計画・教官定員配置検討委員会合同会
 議
 16日 教務委員会
 23日 情報処理センター設置に伴う懇談会
 24~25日 全国国立大学教養部長・事務長協議会

経営短期大学部

- 5月10日 第2回財務・将来構想合同委員会
 16日 第2回授業料等減免選考委員会
 17日 第3回教授会
 第3回財務委員会
 19~20日 昭和59年度厚生補導特別企画学生研修会
 (於 岐阜県高山市市営国民宿舎飛驒)

—職員会館の宿泊の御案内—

- ◎利用日……土・日曜日及び祝日も利用できます!!
 ◎申し込み…利用日の2日前までに!!
 ◎門限時刻…午後10時………御協力を………!!

資 料

昭和58年度卒業生産業別就職状況

昭和59年5月1日現在

産業別	学 部						合 計
	人文学部	教育学部	経済学部	理学部	工学部		
農 業							
林 業							
漁業・水産養殖業							
鉱 業							
建設業	3		4	2	4	13	
製 造 業	食 料 品			10	1	4	15
	織 維			4	1	3	8
	印 刷	6		2		2	10
	化学工業	3	1	7	18	13	42
	石油・石炭製品						
	鉄 鋼					2	2
	非鉄金属				2	9	11
	金属製品		2	5	2	10	19
	一般機械器具	1		8	5	24	38
	電気機械器具		1	14	19	59	93
	輸送用機械器具	3		7		20	30
	精密機械器具					4	4
	そ の 他	1	1	9	2	13	26
小 計	14	5	66	50	163	298	
卸小売	商事・貿易	3	1	12	2	6	24
	百貨店・スーパー	14		6	3	4	27
	小 計	17	1	18	5	10	51
金融	銀 行	2		18	2		22
	信用金庫・信用組合	1		17			18
	保 險 業			10			10
	証券・商品取引	4		16	1		21
	小 計	7		61	3		71

産業別	学 部						合 計
	人文学部	教育学部	経済学部	理学部	工学部		
不 動 産 業							
運 輸 ・ 倉 庫 業			5		4	9	
電気・ガス・水道			2		7	9	
マスコミ	新聞・出版	2		1			3
	ラジオ・テレビ	2					2
	小 計	4		1			5
サービス	広告・観光業	2					2
	医療保健業			2			2
	非営利的団体	1	3		1	1	6
	公共企業体等						
小 計	3	3	2	1	1	10	
教 育	17	149	1	19	1	187	
公務	国家公務員	1	3	8	4		16
	地方公務員	5	1	25		6	37
	小 計	6	4	33	4	6	53
上記以外のもの	26	7	81	28	14	156	
合 計	97	169	274	112	210	862	

規模別就職先	従業員数						
	大企業 (300人以上)	42	1	178	48	165	434
	中企業 (30~299人)	24	8	56	32	34	154
	小企業 (29人以下)	4	4	6	5	4	23
企業以外	27	156	34	27	7	251	

昭和58年度卒業生地域別就職状況

昭和59年5月1日現在

地方 学部	北海道	東 北	関 東	中 部		近 畿	中 国	四 国	九 州	海 外	合 計
				富山県	その他						
人文学部	0	0	16	34	34	12	0	0	1	0	97
教育学部	0	0	3	147	16	2	0	0	0	1	169
経済学部	1	1	63	93	88	28	0	0	0	0	274
理 学 部	1	0	31	28	43	8	0	1	0	0	112
工 学 部	0	0	44	75	70	21	0	0	0	0	210
合 計	2	1	157	377	251	71	0	1	1	1	862
%	0.2	0.1	18.2	43.8	29.1	8.3	0	0.1	0.1	0.1	100

- ◎ 退庁、退室の際には、戸締りの徹底・電気、ガスの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末に十分注意し、盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!
- ◎ 電気、ガス、水の省エネ・省資源に協力しましょう!!
- ◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あ け ぼ の 企 画
富山市曙町8-4
電話(33)3356(代)